

令和7年度
「豊島区民による事業提案制度」
区民投票対象事業の概要一覧

投票番号

1

豊島区のまちに彩りを！ 障害者アートレンタル事業

多様性の尊重・
多文化共生

- ・企業や店舗が障害者アートをレンタルし、区全体を美術館に
- ・レンタル料の一部を制作者の収入として還元



期待される
効果

- ・ アートを通じた障害者の社会参画のきっかけづくりに寄与
- ・ 制作を行う障害者に自己表現の場を提供し、収入を得る機会に
- ・ 障害に対する理解やコミュニケーションが促進される

投票番号

2

多様性への理解と意識変容に向けた 子育て世帯の居場所づくり

多様性の尊重・
多文化共生

- ・国籍に関わらず妊婦や子育て世帯が安心して集える場を提供
- ・無意識な偏見や他者との違いを理解するための講座等を実施



母国の子育て文化の紹介等



保護者・保育者向けの講座等の実施

期待される
効果

- ・文化の違いや価値観を楽しみながら理解し、「自分らしい育児」をすることの安心感・自己肯定感を醸成する
- ・子育てに対する不安感や心細さ・孤独感を軽減する

投票番号

3

食やアートを通じた 多文化交流イベントの実施

多様性の尊重・
多文化共生

各国の伝統的な料理の提供やアート体験等を通じて、様々な文化への理解を促進する



母国の家庭料理と一緒に食べる！



各国の伝統的なアート体験

期待される
効果

- 身近な「食」や気軽に体験できる「アート」等を通じ、外国の文化を知る・学ぶ・出会う機会に
- 外国人にとって「母国の文化が尊重されている」という安心感や自己肯定感を高めるきっかけとなる

投票番号

4

国籍や世代を越えて誰もが気軽に交流できる「国際交流ひろば」の設置

多様性の尊重・
多文化共生

“楽しさ・学び・人とのつながり”を軸に、年齢・国籍を問わず、誰もが参加できるカジュアルな交流の場を設置



言語交流・外国人同士の交流など、誰でも気軽に参加できる国際交流の場に

期待される
効果

- ・日本人と外国人の交流がなされることで相互理解が進み、地域の多文化共生に寄与
- ・日本で暮らす外国人の方々が地域の日本人や外国人同士で交流できる居場所となり、孤立感の解消に繋がる

睡眠健康相談窓口の設置

こころと体の
健康づくり

- ・ 全世代対象の睡眠に関する相談窓口を設置
- ・ 専門家による講演等を実施し睡眠・健康への関心を高める

良い睡眠をとるには
どうしたら...



睡眠不足で疲労困憊だがどこに相談すれば...

睡眠に関する相談窓口

期待される
効果

- ・ ストレス状態、うつ等の心身の疾患の早期発見・予防に寄与
- ・ 健康・睡眠への関心が高まり、生活改善に向かうきっかけに
- ・ 気力・体力が充実し、日中の仕事効率や幸福感が向上

ケアする人が、ケアされる時間

こころと体の
健康づくり

普段、他人のケアや子どもの世話等を行っている方々に対し、気持ちの共有やほっと息抜きをする機会等を提供



日々の業務や育児・介護等に忙殺され、
自分のことは後回しにしがち...



経験や気持ちの共有に
より安心感を醸成



体を動かしたり、一息
つける場でリフレッシュ

期待される
効果

- 普段はケアをする側・支える側の方々が、疲労感や孤立感を溜め込む前のリフレッシュにつながり、「自分もケアされる側になっていい」と安心感を得て日々の業務や育児等に取り組める

投票番号

7

メンタルヘルスケアに向けた ワークショップの開催

こころと体の
健康づくり

「ちょっとした不安」や「デジタル疲れ」等、現代人が抱えがちなメンタルヘルスのケアに着目したワークショップを開催



自分自身の今の気持ちを「演じる」
「声にする」「書く」などの方法で表現

スマホにまつわるエピソードの共有や、
スマホを手放して区内のまち歩き等を実施

期待される
効果

- ストレスや不安な気持ちを溜め込む前に表現できる場の創出や、自分にとってちょうどよいスマホとのつながり方を見つけること等を通じ、メンタルヘルスによる不調を予防・軽減

投票番号

8

キッチンカーによる 「まちかどカフェ」のオープン

こころと体の
健康づくり

キッチンカーが区内の公園を巡回する等により、外に出る機会が少ない方々に対し外出のきっかけと憩いの場を提供



身近な公園等に
キッチンカーが登場！



外に出て歩くきっかけ
コミュニケーションの機会に

期待される
効果

- 身近な公園等まで歩くことで、運動不足解消等のきっかけに
- 近隣の方々が集まってコミュニケーションをとる機会の創出につながり、孤独感・孤立感の防止に寄与